

平成20年5月草津市議会定例会を5月7日から5月30日まで開きました。今定例会では、新市長の施政方針が述べられ、補正予算や条例案など15件の議案が市長から提出されました。議員からは3件の意見書を提出しました。また、請願1件が紹介提出されました。

主な議案の説明

5月定例会で可決された予算や条例のうち、主なものを紹介します。
※議案名等は一部省略して記載しています。

議案

主な案件名と内容

【議第46号】平成20年度草津市一般会計補正予算

一般会計予算を36億8,800万円増額し、343億1,800万円にする補正予算です。

(主な内容)

●**地域福祉と人権のまちづくり実態調査費 (577万2千円)**

・同和行政において教育・福祉・就労等課題が残されている施策について、地域の実態を把握し、事業の必要性を見極めるために、実態調査を実施します。

●**特別支援教育支援員配置費 (1,902万3千円)**

・LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥・多動性障害)等の発達障害がある児童、生徒を支援するため、全ての小中学校に「特別支援教育支援員」を配置します。

●**すこやか訪問事業費 (736万7千円)**

・子どもの健全な育成環境を育むため、乳児のいる家庭を助産師や保育士等が訪問します。

●**住宅用太陽光発電システム設置費補助金 (500万円)**

・太陽光発電システムを個人住宅に導入される方に、1世帯10万円を限度に、費用の一部を補助します。

●**小中学校幼稚園老朽校舎改築／耐震補強事業費 (5,744万9千円)**

・小・中学校の校舎、体育館および幼稚園舎の耐震診断や耐震補強を行います。(小学校5校、中学校2校、幼稚園1園)

●**自転車駐車場増設事業費 (1,550万円)**

・南草津駅の自転車自動車駐車場内に、自転車180台分の自転車置場を増設します。

●**地域コミュニティ施設建設事業費 (7,409万3千円)**

・草津2丁目に、FM放送施設の機能を備えた地域コミュニティ施設を建設します。

●**自治基本条例の制定 (177万8千円)**

・行政運営の基本方針を規定し、市民参画と協働・協創のまちづくりのための基本ルールを定めるため、自治基本条例の制定に向けた取り組みを行います。

●**予算編成過程の情報開示 (560万8千円)**

・市民に開かれた透明性の高い市政運営を目指し、予算の見積内容や査定結果等をホームページで公開できるようコンピュータシステムを改修します。

補
正
予
算

【議第50号】平成20年度草津市水道事業会計補正予算

水道事業会計を1,000万円増額し、37億1,700万円にする補正予算です。

(主な内容)

●**上下水道料金等関連業務委託費 (今回補正額1,000万円)**

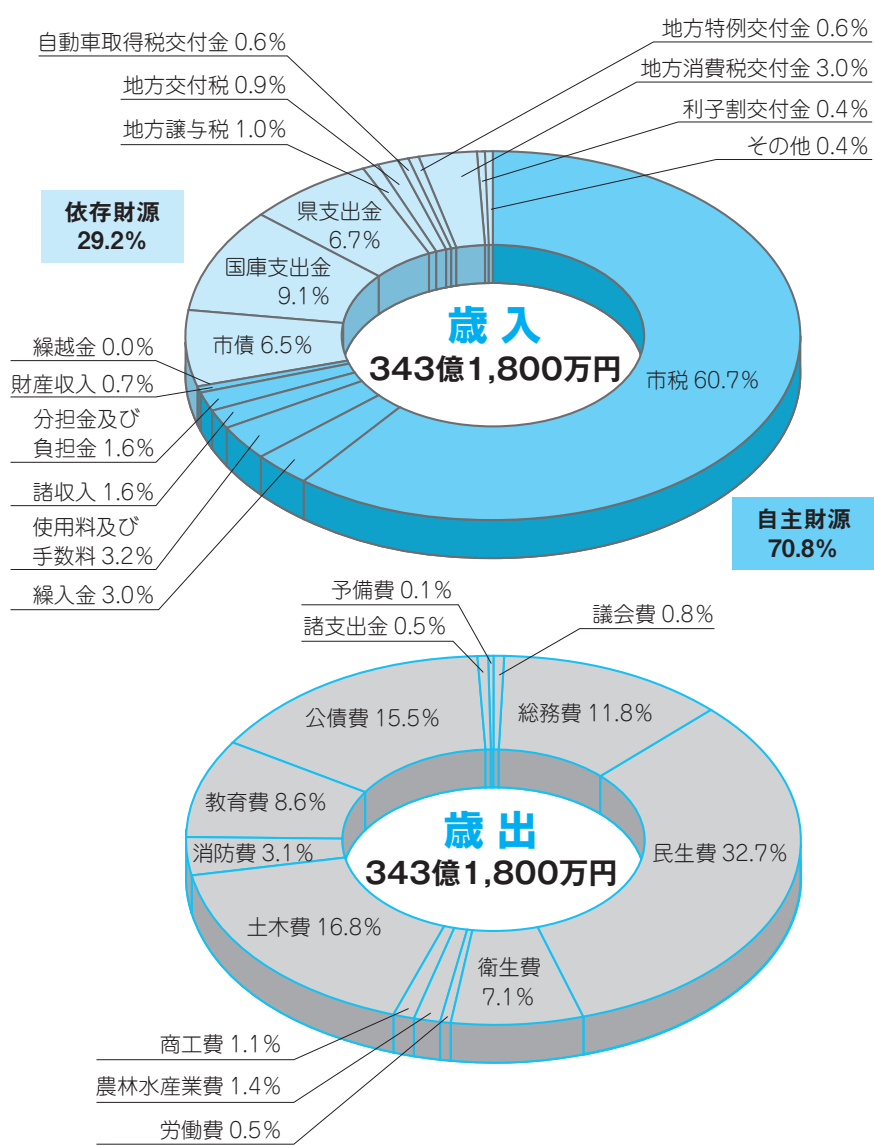
・当初予算額に補正額を加え、より一層のお客様サービスの向上と、行財政運営の効率化等を目的として、現在市が行っている上下水道料金徴収業務等を民間事業者へ委託します。

議案	主な案件名と内容
条 例	<p>【議第52号】草津市医療費特別助成条例の一部改正</p> <p>市民の皆様により安心して子育てをしていただくため、小・中学生が入院された時の医療費が無料となるよう、一部負担金の全額を助成します。（※平成20年10月診療分から実施します）</p>

平成20年度 草津市一般会計予算【肉付補正後】の内訳

平成20年度当初予算は、今年2月に市長選挙が行われたことから、人件費などの義務的経費や継続事業を中心とした『骨格予算』として編成されていました。

そのため、今回の5月定例会では、新市長のもと、市政諸課題の解決に向けた新たな事業や政策的な経費を盛り込んだ補正（肉付）予算が編成されたものです。



- 歳入
- **自主財源とは**
市税や施設の使用料など市が独自に調達する経費
 - **依存財源とは**
地方交付税や国庫支出金など国や県から交付される経費
- 歳出
- **総務費とは**
企画・立案や自治振興、内部管理のための経費
 - **民生費とは**
障害者や高齢者等に対する福祉の充実、子育て支援のための経費
 - **衛生費とは**
健康づくりや環境対策、ごみ処理のための経費
 - **土木費とは**
道路や公園などの公共施設の整備のための経費
 - **消防費とは**
消防や救急業務のための経費
 - **教育費とは**
学校教育の充実、文化・スポーツの振興のための経費
 - **公債費とは**
市が借りたお金の返済のための経費
 - **労働費、農林水産業費、商工費、議会費などは**
雇用促進、農業や商業の振興、議会の運営などのための経費